

工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事故(速報)発生状況】 (H27.9.30現在)

	9月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成27年度(今年度)	14件	49件	3人	15人
平成26年度(昨年度)	4件	75件	4人	29人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

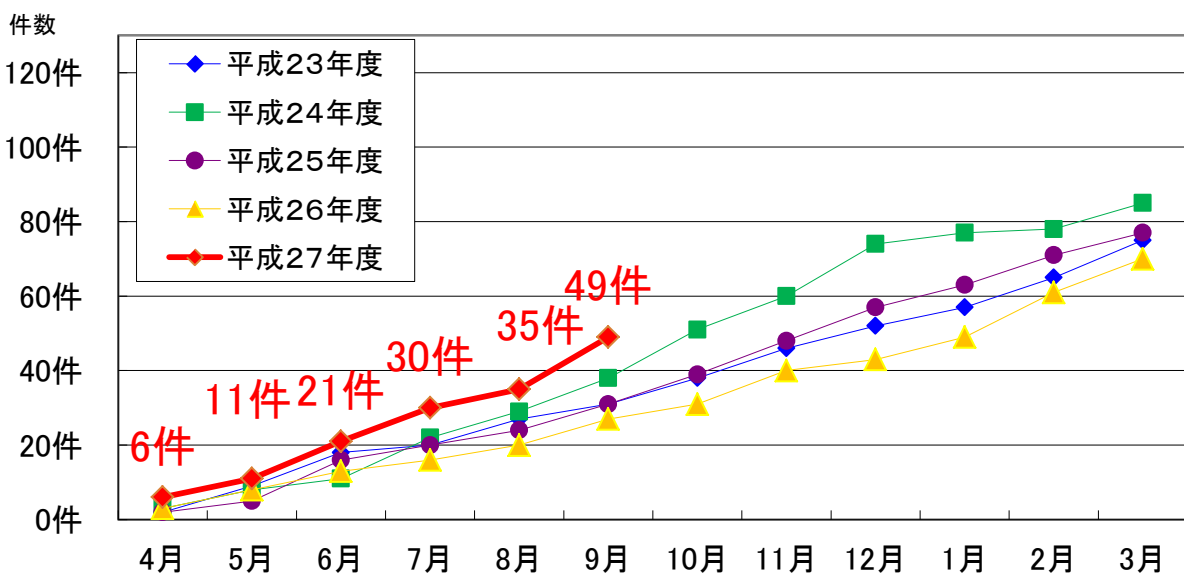
注2) 「9月発生件数」は、9/1～9/30の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。

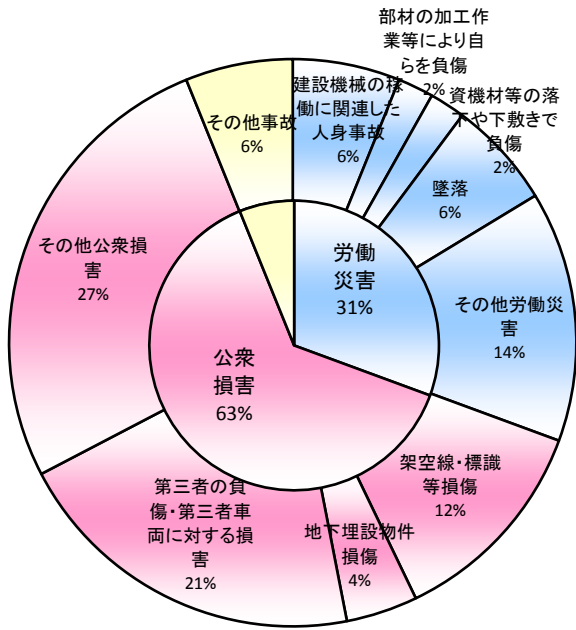
注5) 平成27年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

●工事事故件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成23年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	9件 (7件)	18件 (9件)	20件 (2件)	27件 (7件)	31件 (4件)	38件 (7件)	46件 (8件)	52件 (6件)	57件 (5件)	65件 (8件)	74件 (9件)
平成24年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	11件 (3件)	22件 (11件)	29件 (7件)	38件 (9件)	51件 (13件)	60件 (9件)	74件 (14件)	77件 (3件)	78件 (1件)	85件 (7件)
平成25年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	5件 (3件)	16件 (11件)	20件 (4件)	24件 (4件)	31件 (7件)	39件 (8件)	48件 (9件)	57件 (9件)	63件 (6件)	71件 (8件)	77件 (6件)
平成26年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	13件 (5件)	16件 (3件)	20件 (4件)	27件 (7件)	31件 (4件)	41件 (10件)	44件 (3件)	50件 (6件)	64件 (14件)	75件 (11件)
平成27年度 累計 (月毎)	6件 (6件)	11件 (5件)	21件 (10件)	30件 (9件)	35件 (5件)	49件 (14件)						

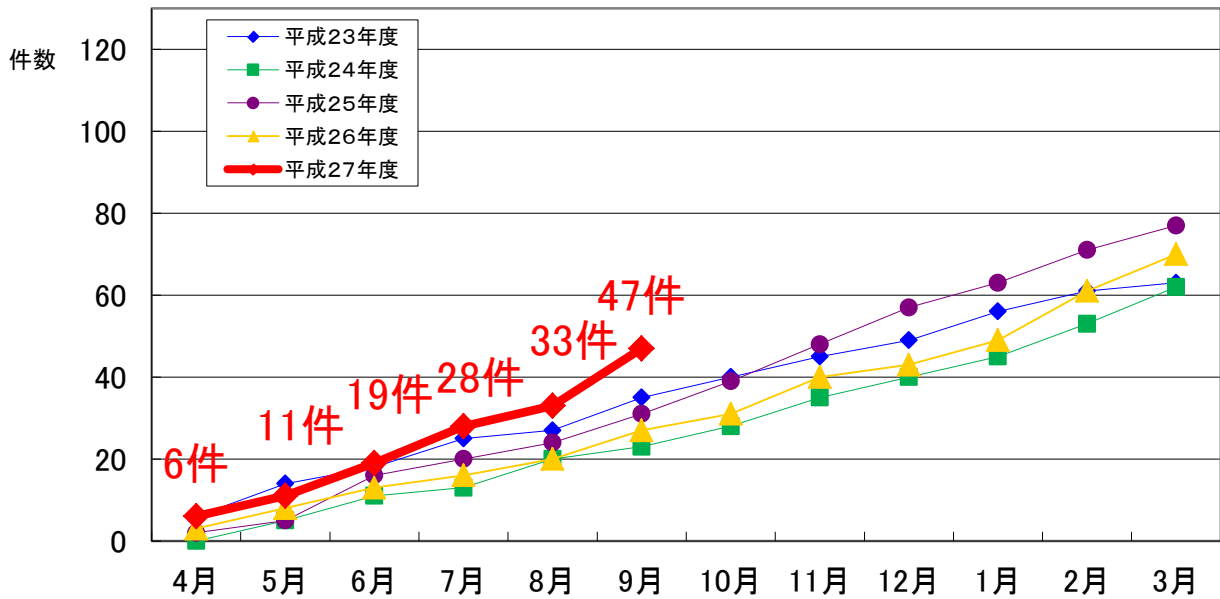
●平成27年度 工事事故発生状況(発生形態別)



発生形態		H25	H26	H27	過去3年間計
労働災害	建設機械の稼働に関連した人身事故	6	4	3	13
	部材の加工作業等により自らを負傷	5	2	1	8
	資機材等の落下や下敷きで負傷	6	4	1	11
	墜落	6	6	3	15
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	1	0	0	1
	その他労働災害	6	14	7	27
小計		30	30	15	75
公衆損害	架空線・標識等損傷	5	8	6	19
	地下埋設物件損傷	12	7	2	21
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	16	21	10	47
	その他公衆損害	10	8	13	31
	小計	43	44	31	118
その他事故		4	1	3	8
計		77	75	49	201

● H27年度重点的安全対策項目

(参考)工事事故のうち、「その他公衆損害」における車両管理業務等の車両の自損事故を除く事故件数(車両管理業務等の車両の自損事故を除いた工事事故件数)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成23年度 累計	0件	5件	11件	13件	20件	23件	28件	35件	40件	45件	53件	62件
(月毎)	(0件)	(5件)	(6件)	(2件)	(7件)	(3件)	(5件)	(7件)	(5件)	(5件)	(8件)	(9件)
平成24年度 累計	2件	6件	8件	18件	23件	31件	42件	50件	63件	66件	67件	74件
(月毎)	(2件)	(4件)	(2件)	(10件)	(5件)	(8件)	(11件)	(8件)	(13件)	(3件)	(1件)	(7件)
平成25年度 累計	2件	5件	16件	20件	24件	31件	39件	48件	57件	63件	71件	77件
(月毎)	(2件)	(3件)	(11件)	(4件)	(4件)	(7件)	(8件)	(9件)	(9件)	(6件)	(8件)	(6件)
平成26年度 累計	3件	8件	13件	16件	20件	27件	31件	40件	43件	49件	61件	70件
(月毎)	(3件)	(5件)	(5件)	(3件)	(4件)	(7件)	(4件)	(9件)	(3件)	(6件)	(12件)	(9件)
平成27年度 累計	6件	11件	19件	28件	33件	47件						
(月毎)	(6件)	(5件)	(8件)	(9件)	(5件)	(14件)						

■問合せ先:企画部 技術調査課 遠藤・古賀 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成 27 年 9 月 2 日 (水) 11 時 0 分			
工事情報	道路系事務所 As舗装工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	下水道管の損傷
事故概要	当該現場にて路盤陥没が発生、調査したところ、地盤改良を行うスタビライザーにて混合攪拌中に国道を横断している下水道管を破損した。			
	公衆損害-地下埋設物損傷			

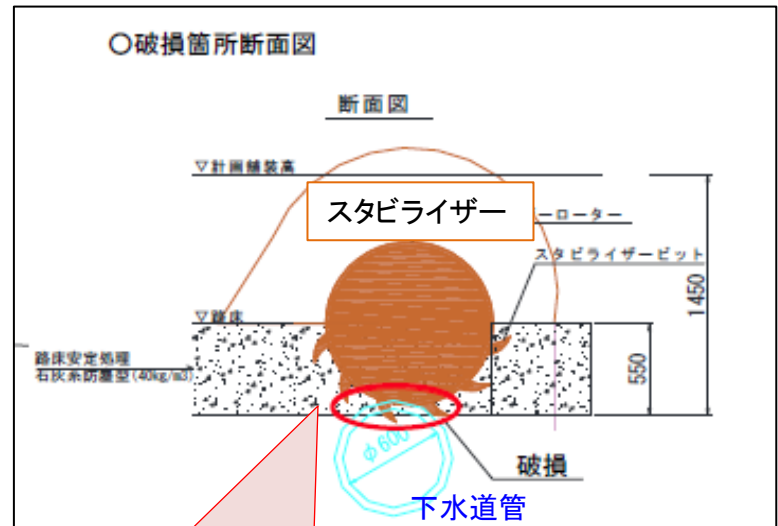
事故発生状況



路面陥没状況



混合攪拌状況



スタビライザーにて下水管を破損

- ・当該箇所において、スタビライザーにより路床安定処理工を施工。改良後、整正転圧を行う。
- ・施工中施工後共に、陥没等の異常はなく下水道管を、破損しているとの認識はなかった。
- ・後日、現場巡視中、路盤陥没箇所を発見し、下水道管の破損が発覚。
- ・図面入手(H27.3)してから約5ヶ月経過していたため下水道に関して失念し、試掘、マーキング等が実施されないまま施工に至った。

【事故発生原因】

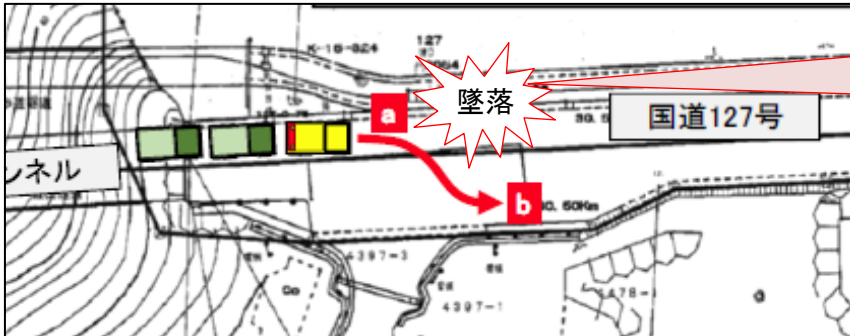
- ・埋設物有無の確認、試掘等をしなかったなど

【事故防止のポイント】

- ・作業前に図面や関係機関への確認と試掘などにより埋設物の有無を把握するなど

発生日時	平成 27 年 9 月 2 日 (水) 1 時 35 分			
工事情報	道路系事務所 業務			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	42	作業員	左腕骨折(全治1.5ヶ月)
事故概要	トンネルの点検で、規制撤去終了後、終礼場所へ移動した際、規制車(4t)荷台で片付け作業をしていた作業員が、バランスを崩して荷台より転落した。			
	労働災害-墜落			

事故発生状況



a地点から待機所のb地点
に向かう際に転落

荷台上で不用意に立ち上
がった。



・被災者は、撤去した予告看板を標識車荷台で受け取り、移動中に荷物の看守をしていた。

・被災者は、予告看板回収後、トンネル先右手の路肩拡幅部へと移動する際、荷台上で不用意に立ち上がり、バランスを崩し、転落した。

【事故発生原因】

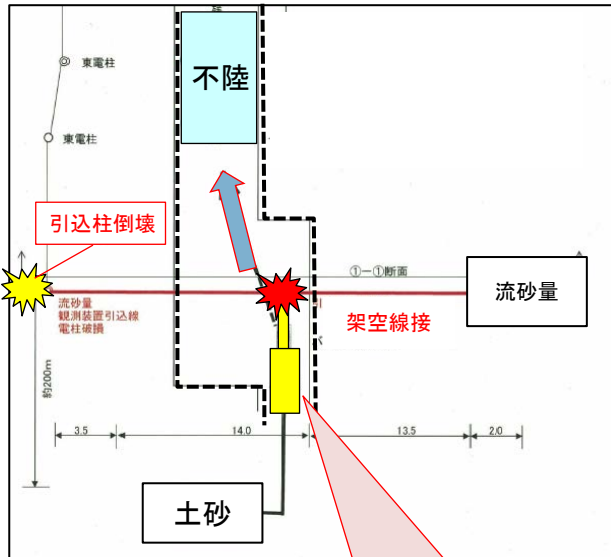
・トラック運転手と荷台作業員の連携不足。
など

【事故防止のポイント】

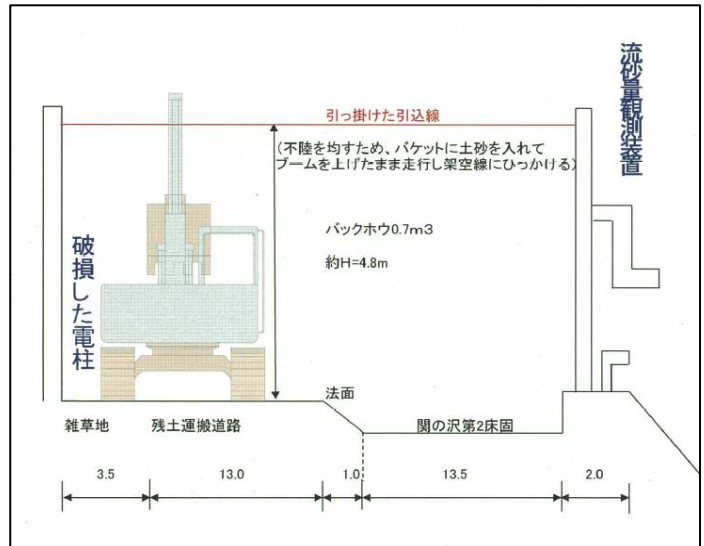
・荷台に作業員を乗せた状態での移動方法について周知・徹底を図る。
など

発生日時	平成 27 年 9 月 7 日 (月) 11 時 55 分			
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	引込柱の倒壊
事故概要	バックホウにて砂利道をならしていたところ、アームが流砂量観測装置の引込線に接触、引込柱を倒壊させた。 公衆損害-架空線・標識等損傷			

事故発生状況



平面図



断面図

引込柱
倒壊

バックホウにて、不陸整正を均すためバケツトに土砂を入れてブームを上げたまま走行していた。

- ・バックホウにて、不陸整正を均すためバケツトに土砂を入れてブームを上げたまま走行していた。
- ・その際、流砂量観測装置に至る引き込み線にバックホウアームを引っ掛け、引込柱を1本倒壊させた。

【事故発生原因】
・架空線に対する安全対策不足
など

【事故防止のポイント】
・事前確認及び周知・指導の徹底不足
・アームを上げたまま走行しない等の周知・徹底不足
など

発生日時	平成 27 年 9 月 14 日 (月) 9 時 40 分			
工事情報	道路系事務所 橋梁上部工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	20	圧接工	左手指挫創(全治2週間)
事故概要	圧接作業員が鉄筋端面処理中に、サンダーに誤って接触し、左手を負傷したもの。			
	労働災害一部材の加工作業等により自ら負傷			

事故発生状況

状況写真①【再現写真】



鉄筋が固定されておらず、ブレることから、手で押さえながら作業する状況であった。

状況写真②【再現写真】



ディスクグラインダーの刃の消耗が進んでおり、力を込めて研磨する状態であった。

・被災者は、鉄筋圧接の準備作業として、ブラケット足場1段目において、ディスクグラインダーを使用し、鉄筋先端部(D35)の研磨作業を実施していた。

・研磨作業中、ディスクグラインダーの刃が滑り、鉄筋をブレないように抑えていた手にディスクグラインダーの刃が接触し、皮手袋の上から、左手を挫創した。

【事故発生原因】

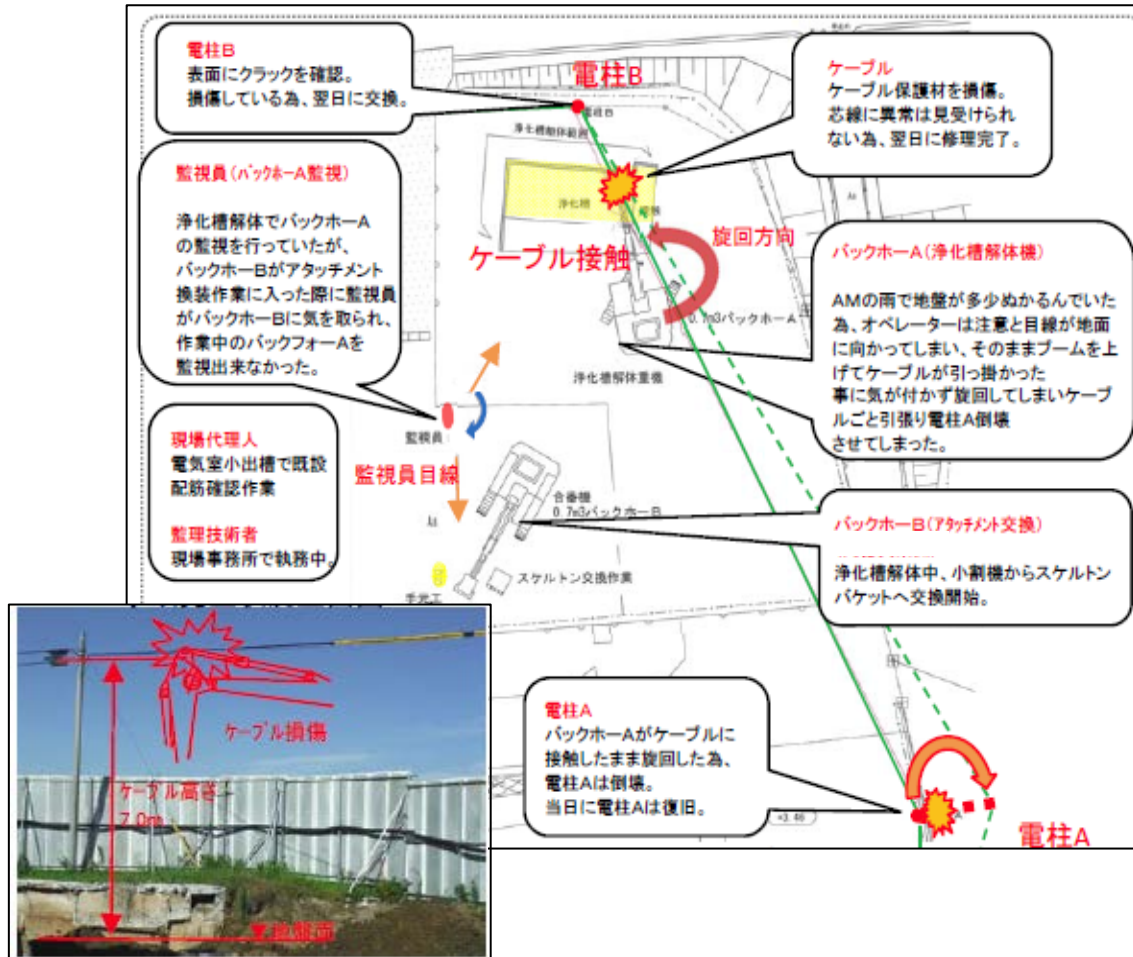
- ・ディスクグラインダーの刃を交換しなかった
- ・鉄筋が固定されていないなど

【事故防止のポイント】

- ・摩耗された刃を使用しない
- ・現場条件を把握した作業指示(研磨対象物の固定)など

発生日時	平成 27 年 9 月 2 日 (水) 14 時 0 分			
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	
事故概要	浄化槽解体工事中、架空線にバックホーのブームが接触、架空線が引き込まれ電柱が倒壊。 公衆損害—架空線・標識等損傷			

事故発生状況



- ・浄化槽解体作業で解体機2台(0.7m3バックホー)を使用して解体。
- ・浄化槽上部に斜めにNTTケーブルに解体機のブームが接触。接触した事に気づかずブームを旋回したところ架空線が引き込まれ付近の電柱が1本倒壊、1本損傷した。
- ・監視員がいたが、別バックホーのアタッチメント換装作業に気をとられていた。

【事故発生原因】

- ・架空線等に対する安全対策の周知徹底不足
- など

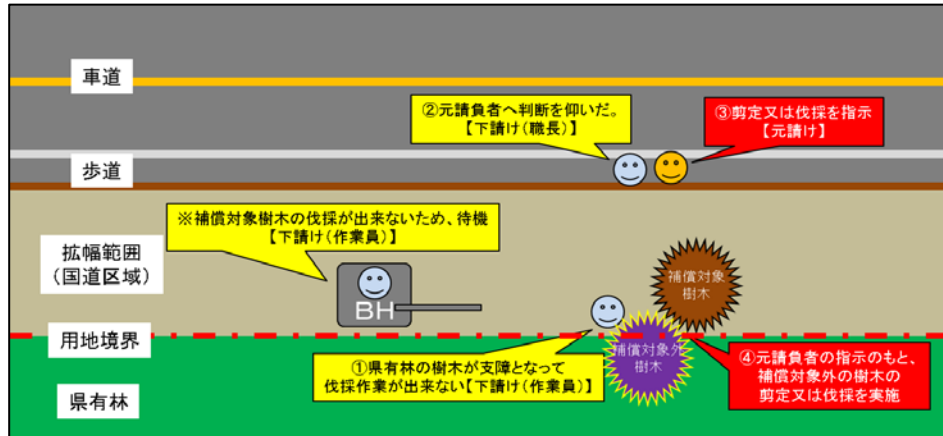
【事故防止のポイント】

- ・監視員、オペレーターに監視対象重機、監視員配置を作業毎により明確し、徹底させる
- など

発生日時	平成 27 年 9 月 4 日 (金) 10 時 30 分			
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	特別地域内の表土めくれ・溶岩掘削・樹木切断
事故概要	当該現場(交差点改良工事)において、県有林内・国立公園内(第一種特別地域)の樹木の選定及・伐採、樹皮の損傷、土地を乱した物等			
	公衆損害-その他公衆損害			

事故発生状況

代表例(樹木の剪定・伐採)



- ・拡幅範囲内の樹木を伐採する際に、区域外の樹木(補償対象外)の枝葉が作業の支障になることから、剪定又は伐採をした。(代表例①)
- ・拡幅範囲内の樹木を伐採した際に、根が区域外に伸びていたが、そのまま抜根したため、県有林の土地の表土を乱した。(代表例②)
- ・いずれも、独断でおこなっており、監督職員の協議を実施していなかった。

【事故発生原因】

- ・独断で作業を実施したことなど

【事故防止のポイント】

- ・監督職員と協議を行い、作業計画の見直し等の検討を行ったうえで、施工するなど

発生日時	平成 27 年 9 月 15 日 (火) 13 時 30 分			
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	通信ケーブル切断
事故概要	管理施設内(桜機場)において肩掛け式草刈り機による除草中に警備会社の通信ケーブルを切断したものを。 公衆損害-第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

事故発生状況



肩掛け式草刈り機で
通信ケーブルケーブルで損傷

・肩掛け式草刈り機によりフェンス際の除草作業中に、警備会社ケーブル切断したものを。

【事故発生原因】

- ・事前調査不足
- ・近接構造物(障害物)に対する安全対策不足
など

【事故防止のポイント】

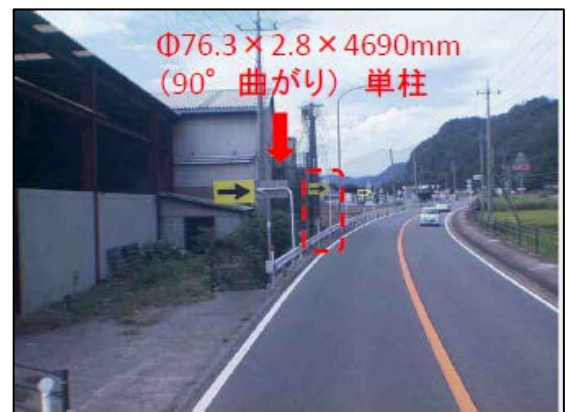
- ・事前調査を実施し、安全対策をおこなう
- ・近接構造物周辺は手刈りをおこなう
など

発生日時	平成 27 年 9 月 18 日 (金) 9 時 40 分			
工事情報	道路系事務所 業務			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	58	点検補助員	左手甲骨折(全治1ヶ月)
事故概要	標識点検のためハシゴに登っていた作業員がバランスを崩し、近接の用水路に転落し、負傷したものの。			
	労働災害-墜落			

事故発生状況



点検対象物にハシゴを立て掛け、バランスを崩し落下



- ・矢印標識(単柱式)の点検を行うため、作業員が点検対象の標識にハシゴを立てかけ、点検するためにハシゴを上ったところ、バランスを取るために手を付いていた標識が動き、バランスを崩してハシゴから用水路へ落下してしまった。落下した際、身体を守るため手を付いたが、その手を負傷してしまった。
- ・点検方法について、当該箇所は交通量が多く渋滞が発生したこと等より、当日に高所作業車から脚立に変更した。
- ・点検対象物の施設に脚立を立てかけた。
- ・脚立の上段から2段目に安全帯を掛けていた。

【事故発生原因】

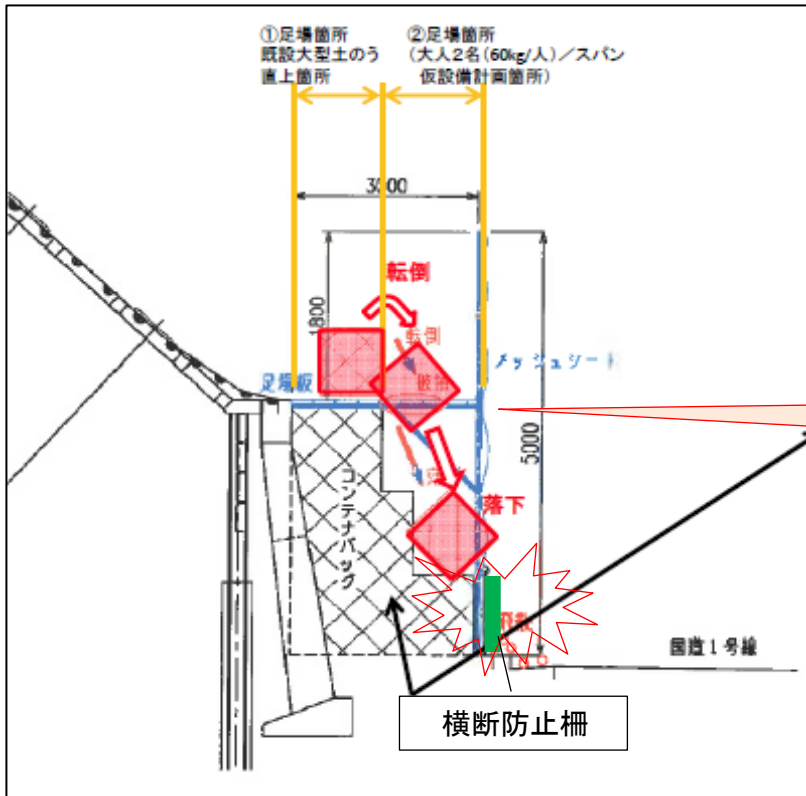
- ・墜落に対する安全対策不足
- ・効果の無い安全帯の使用など

【事故防止のポイント】

- ・安全な作業環境を整備し、安全帯を適切に使用するなど

発生日時	平成 27 年 9 月 25 日 (金) 7 時 30 分			
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	横断防止柵4m損傷
事故概要	撤去した既設法面保護(Co殻)を大型土のう袋に詰め足場板上に仮置きしていたところ、足場板が折れ、土のう袋が法面下(路肩)まで落下し、横断防止柵を損傷させたもの			
	公衆損害-その他 公衆損害事故			

事故発生状況



大型土のう

Con袋が転倒、足場板が破損し、横断防止柵を損傷



横断防止柵損傷状況

- ・足場箇所(既設大型土のう上)にCo廃材が入った袋を仮置きしていた。(転倒前のCo廃材袋は、既設大型土のう上であり、安定していた。)
- ・Co廃材入り袋が足場箇所(空間側(土のうが下に無い方))に転倒したため、足場板が重量に耐えきれず破損し、下の横断防止柵を損傷した。

【事故発生原因】

- ・Con袋の仮置き方法や倒壊に対しての安全対策が不足

など

【事故防止のポイント】

- ・仮置き方法について、Con袋の転倒防止の検討を行い、足場については倒壊しないものを選定する。

など